部　方　針　書

年度	部名	部長名
R5	会計管理者	中村　香奈恵

1　部の経営方針　部全体を俯瞰したマネジメントの目標

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標ごとに記載）
1	会計事務を適正かつ確実に執行する。
2	財政課との情報共有や的確な状況把握を行い、資金を確実かつ効率的に運用する。
3	室内職員がお互いに凡事徹底をすることで仕事の質を高め、組織の成長に繋げる。
4	管理職が率先して範を示し、責任と主体性をもって職務に取組む人材の育成に努める。

◎心理的安全性確保に向けた取組（記入必須）

職員間で日頃から活発にコミュニケーションを取り、相談や発言がしやすい職場環境づくりを進める。

2　部が所管する主な個別計画　前期実行計画に掲げる施策に関連する特定分野における計画

No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類
1				2				3			
4				5				6			

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	出納室	清水　一郎

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
会計事務の適正な執行を確保するため、支出負担行為の確認及び支出命令の審査並びに現金の出納・保管、小切手の振出し、決算の調製、有価証券の出納保管、物品の出納保管等を的確に行う。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	会計事務の適正かつ確実な執行		R5	会計事務の適正かつ確実な執行	会計事務の適正かつ確実な執行	会計事務の適正かつ確実な執行	適正かつ確実な会計事務の実現
2	資金（歳計現金、歳入歳出外現金、基金及び一時借入金）の確実な管理と効率的な運用		R5	資金の確実かつ効率的な運用	資金の確実かつ効率的な運用	資金の確実かつ効率的な運用	確実かつ効率的な資金の確保
3	決算の調製		R5	的確な決算書・決算附属書の作成	的確な決算書・決算附属書の作成	的確な決算書・決算附属書の作成	決算の内容は後の予算や施策に反映
4	新たな支払データ伝送システムの運用開始		R5	新たなデータ伝送システムの導入、安定運用	新たな伝送システムの導入準備完了	新たな伝送システムの運用開始	より安全で確実かつ効率的なデータ伝送の確保

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	資金の確実な管理と効率的な運用	本市の資金をより安全かつ効率的に確保するため。	資金の確実かつ効率的な運用	

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
資金（歳計現金、歳入歳出外現金、基金及び一時借入金）の確実な管理と効率的な運用を行う。		ゼロ予算	資金の確実かつ効率的な運用
（庁内連携課）	財政課	うち一財	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●資金収支の的確な把握（毎月の各課収支予定の入力徹底、資金収支計画の精度向上） 支払準備金の確保 余裕資金の効率的な運用 ●基金運用について財政課と情報共有 ●金融動向情報収集											

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	決算の調製	根拠法令に基づく。	的確な決算書・決算附属書の作成	

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
的確な決算書、決算附属書を作成する。		571	的確な決算書・決算附属書の作成
（庁内連携課）	全課	うち一財 571	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●決算データチェック	●出納閉鎖	●各課等確認	●物品等データ確認	●監査委員概況聴取	●決算書印刷依頼	●決算書完成・提出	●9月議会　決算審査				

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	新たな支払データ伝送システムの運用開始	R6年1月にNTT公衆回線網が終了。 今後も安定的に支払業務を執行するため、新たな支払データ伝送システムの導入が必要。	新たなデータ伝送システムの導入準備完了	

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
現行の電話回線による伝送システムから、LGWAN回線接続のADPを利用する伝送システムに変更する。指定金融機関に振込データを伝送するシステムの導入をR5年10月までに完了する。		529	新たな伝送システムの運用開始
（庁内連携課）	支払データ伝送システム利用関係課，デジタル推進課	うち一財 529	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●関係各課への現状調査及び調整										
		●指定金融機関へのADP利用申請			●データ伝送のテスト	★運用開始					
			●関係各課へのシステムの手順説明								
		●必要機材の調達準備及び調達									
					現行システム停止★						